



2014(平成26)年12月5日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

Fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>



◆ 展示コーナーのお知らせ ◆

変遷する教科書 ～近代から現代へのあゆみ～

教科書は私たちにとって身近な存在であり、日本の近代教育の姿を知ることのできる貴重な資料でもあります。今回の展示では、福島県立図書館で所蔵している教科書をご紹介します。時とともに移り変わる教科書のすがたを、ぜひご覧ください。



福島県立図書館移転30周年記念事業

図書館の至宝展

『日清戦史草案集』～佐藤文庫より～

平成26年12月5日(金)～27日(土)

会津三方道路

平成27年1月6日(火)～2月11日(水)

福島県立図書館移転30周年記念事業

ふくしまを知る連続講座+1

12月14日(日)

講師 磐梯山噴火記念館副館長 佐藤 公氏

●こどもの部●

『吾妻山を知ろう』 13:00～14:00

定員30名 ※事前申し込みが必要です。

申し込み先:こどものへや TEL 024-535-3218

●大人の部●

『御嶽山と吾妻山』 14:30～16:00

※事前申し込みの必要はありません。

ロビー展示

(今後の予定)

ガラス絵展

平成26年12月5日(金)～12月27日(土)

高木健治パステル画展

平成27年1月6日(火)～2月11日(水)

水彩画教室作品展

平成27年2月22日(日)～4月1日(水)



冬休み企画

図書館探検

12月20日(土)

●こどもの部● 第1回 10:30～11:00

第2回 11:10～11:40

●一般の部● 第1回 14:00～14:30

第2回 14:40～15:10

※事前申し込みの必要はありません。

アートなおはなしかい ～人と形～

12月21日(日)

定員20名 13:30～15:00

申し込み先:こどものへや TEL 024-535-3218



◆ 休館のお知らせ ◆



○ 年末年始

平成26年12月28日(日)～平成27年1月5日(月)

○ 図書特別整理期間

平成27年2月12日(木)～平成27年2月20日(金)

* 長期の休館にご注意ください。休館日はHPやチラシ、日限票でも確認できます。

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

人文・自然・社会

『ノーベル文学賞にもっとも近い作家たち

いま読みたい 38 人の素顔と作品』青月社/編

青月社 2014. 9 902. 05/㊦149

ここ数年はノーベル文学賞の発表時期になると、村上春樹が受賞するのか話題になります。他にはどのような「候補者」がいるのでしょうか。本書では 38 名の作家とその作品が紹介されています。日本語で読める作品リストや作品の特徴に加え、作風や作品の雰囲気などのデータも記載されているので、気になった作家の作品に手を伸ばし、ページをめくってみてはいかがでしょうか。

『脳科学は人格を変えられるか？』

エレヌ・フォックス/著

文藝春秋 2014. 7 491. 371/㊦147/

あなたは楽観的な性格ですか？それとも……。心理学者・神経科学者である著者によると、逆境に打ち勝つ人の共通点は楽観主義者であること。さらに興味深いことには、さまざまな感情を経験し、必要に応じてそれらを抑制できるよう訓練を積んだ人の脳は物理的に変化し、悲観的な人格から楽観的な人格へと生まれ変わることもあり得るといいます。神秘的な脳科学の見地に立ちながら、健康的で幸福な「こころ」をつくるための実践的な方法を教えてくれる一冊です。

『イザベラ・バードの旅の世界

: ツイン・タイム・トラベル』金坂 清則/著

平凡社 2014. 9 289. 3/㊦149/

19 世紀イギリスに生まれ、22 歳から 70 歳直前まで、世界各地を旅した女性、イザベラ・バード。本書は、彼女の著した旅行記から旅の足跡を読み取り、実際にその場所を訪れて撮影した写真の数々を、旅のルートに沿ってまとめたものです。100 年以上の時を経た各地の情景と、その場所を記述した旅行記の断片。それらからは、かつてその地を踏んだ女性旅行家のことが鮮やかに想像されます。過去と現在、ふたつの旅が交差する、新しい旅の記録です。

児童・児童図書研究

『未来のだるまちゃんへ』かこさとし/著

文藝春秋 2014 J726. 601/㊦

『だるまちゃんどてんぐちゃん』など、数多くの人気絵本作者として知られる、かこさとしさん。今年は 40 年ぶりに、『からすのパンやさん』のつづきのお話が出版され、子どもだけでなく、昔子どもだった大人も一緒に楽しむことができました。その大人気作家、かこさとしさんの、子ども時代のエピソードや、作品誕生の秘密、そして子どもたちにどのように向き合ってきたかが綴られています。これから生きる子どもたちへ、「生きることをうんと喜んでほしい」というメッセージにあふれたエッセイです。

雑誌・新聞

先頃、消費税 10% 導入の延期と解散を発表した安倍内閣。総選挙を迎えるにあたり、各メディアではアベノミクスや消費税対して様々な意見が交わされています。

4 月から始まった 8% 消費税や金融緩和策などについて論じられた雑誌を、この機会に紹介します。

*アベノミクスの正念場

Z/051/N11 『Newsweek』2014 年 11 月 25 日号

*なぜ、安倍首相は消費税増税“先送り”に傾いたか

Z/335/P3 『プレジデント』2014 年 12 月 1 日号

*消費税増税と解散

Z/335/R1 『月刊リベラル・タイム』2014 年 12 月号

*グローバルマネー

世界の流れに逆行した日銀の追加緩和

Z/330. 5/E1 『週刊エコノミスト』2014 年 11 月 25 日号

*日銀バブルが来る！

Z/330. 5/T4 『週刊東洋経済』2014 年 11 月 22 日号

*それでも消費税増税が急務だ 増田寛也/著

Z/051/B2 『文藝春秋』2014 年 12 月号

*「失われた 20 年」の根因とは アベノミクスに対する尽きない疑問 高橋伸彰/著

Z/051/S1 『世界』2014 年 12 月号

地域

『シーラカンスの謎』

安部義孝・岩田雅光/共著 誠文堂新光社

2014. 7 L487. 5/A3/1

4 億年も昔からほとんど変わらない姿で生きながらえてきた“生きた化石”シーラカンスという魚をご存じの方は多いはず。

本書では、その身体の仕事や生態、遺伝子に刻まれた地球生命の歴史が図や写真とともに紹介されています。いわき市のアクアマリンふくしまは、シーラカンス研究の最先端にあり、その興味深い研究の紹介も読みどころの一つ。ロマンあふれる一冊です。

『大内宿』

歴史春秋出版/制作

歴史春秋社

2014. 9 L291. 7/R2/1

いづれ豊かな四季の写真に始まり、歴史や祭り、年中行事など大内宿の魅力がいっぱい！ 自然・風景の美しさはさることながら、人のあたたかさが伝わってくるような写真が心に沁みます。互助会「結いの会」の紹介は、一読の価値あり。住人の思いを強く感じるとともに、大内宿の持つ美しさの根底にあるものに気づかされます。

「大内宿てくてくマップ」や「大内宿歴史年表」も収録。